

平成25年度 決算報告書
(第10期)

国立大学法人鳥取大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,232	10,571	338	(注1)
施設整備費補助金	2,117	1,896	△221	(注2)
補助金等収入	443	1,176	733	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	51	51	-	
自己収入	22,557	23,510	952	
授業料、入学料及び検定料収入	3,647	3,544	△103	(注4)
附属病院収入	18,466	19,379	912	(注5)
雑収入	443	586	143	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,439	1,780	340	(注7)
長期借入金	598	502	△95	(注8)
目的積立金取崩	733	56	△676	(注9)
前中期目標期間繰越積立金	-	231	231	(注10)
計	38,172	39,777	1,604	
支出				
業務費	31,477	32,648	1,170	
教育研究経費	14,254	14,716	461	(注11)
診療経費	17,223	17,932	709	(注12)
施設整備費	2,766	2,450	△316	(注13)
補助金等	443	1,176	733	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,439	1,406	△33	(注15)
長期借入金償還金	2,046	2,034	△11	(注16)
計	38,172	39,715	1,542	
収入－支出	-	61	61	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、復興関連事業分が予算措置されたため、予算金額に比して決算金額が338百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が221百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算額に計上していなかった補助金の受入により予算金額に比して決算金額が733百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料・入学料が減少したことから、予算金額に比して決算金額が103百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、主として外来患者数の増加及び外来診療単価が上昇したことによる増収により予算金額に比して決算金額が912百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として科学研究費間接経費収入の増加により予算金額に比して決算金額が143百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった民間等からの寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して340百万円決算金額が多額となっています。
- (注8) 長期借入金については、事業計画の変更による借入額の減少により予算金額に比して決算金額が95百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が676百万円少額となっています。
- (注10) 前中期目標期間繰越積立金については、訴訟事件に係る賠償金等の支払により、予算金額に比して決算金額が231百万円多額となっています。
- (注11) 教育研究経費については、(注6)に示した収入の増加に伴い、執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が461百万円多額となっています。

- (注12) 診療経費については、(注5)に示した収入の増加に伴い、執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が709百万円多額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が316百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が733百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託財源に係る収入減に伴う執行額の減少のため、予算金額に比して決算金額が33百万円少額となっています。
- (注16) 長期借入金については、金利変更等償還計画の変更により予算金額に比して決算金額が11百万円少額となっています。

○「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額142百万円。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。